

平成27年11月27日開催

第5回 三木市総合教育会議 資料

目 次

1	文化の振興	2
2	スポーツの振興	6

1 文化の振興

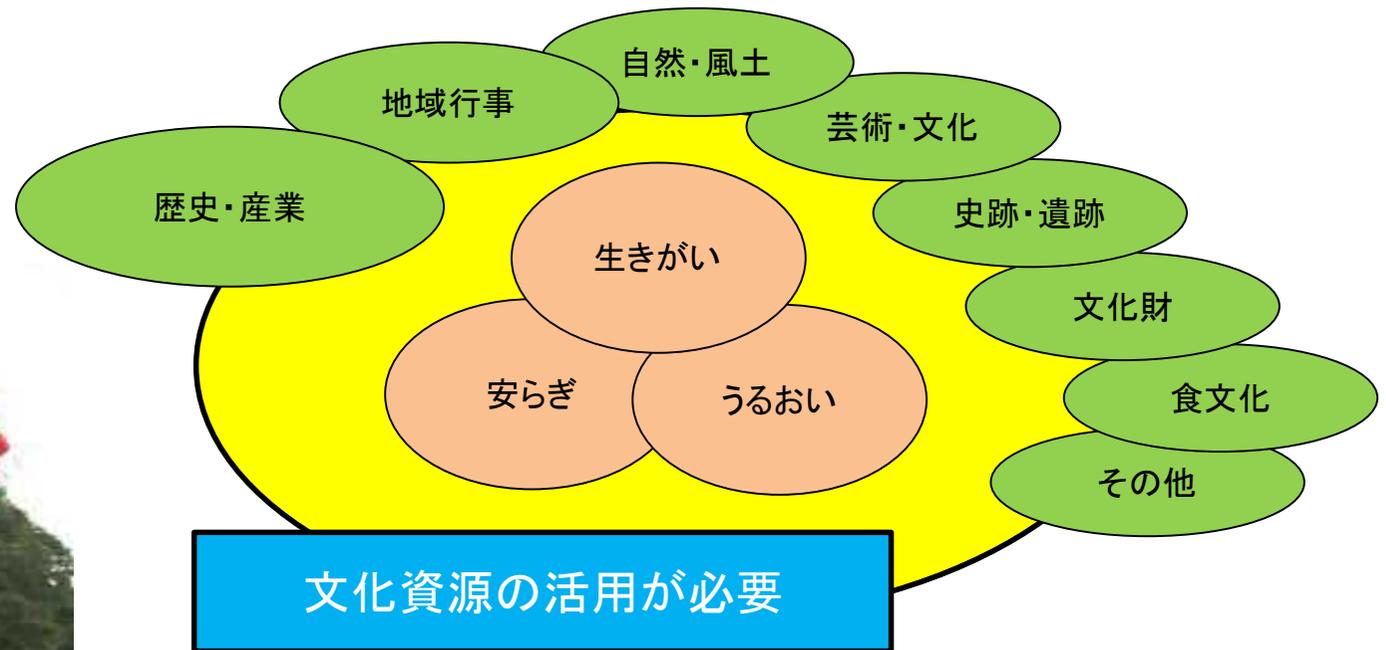
① 「生きがい・安らぎ・うるおい」を感じ、「誇れるわがまち文化」を育む

私たちが日常生活の中で「生きがい・安らぎ・うるおい」を感じ、「誇れるわがまち文化」を育むためには、これまで培われてきた歴史・産業、地域行事、自然・風土、芸術・文化、史跡・遺跡、文化財などの資源を活用していく必要がある。

伽耶院多宝塔



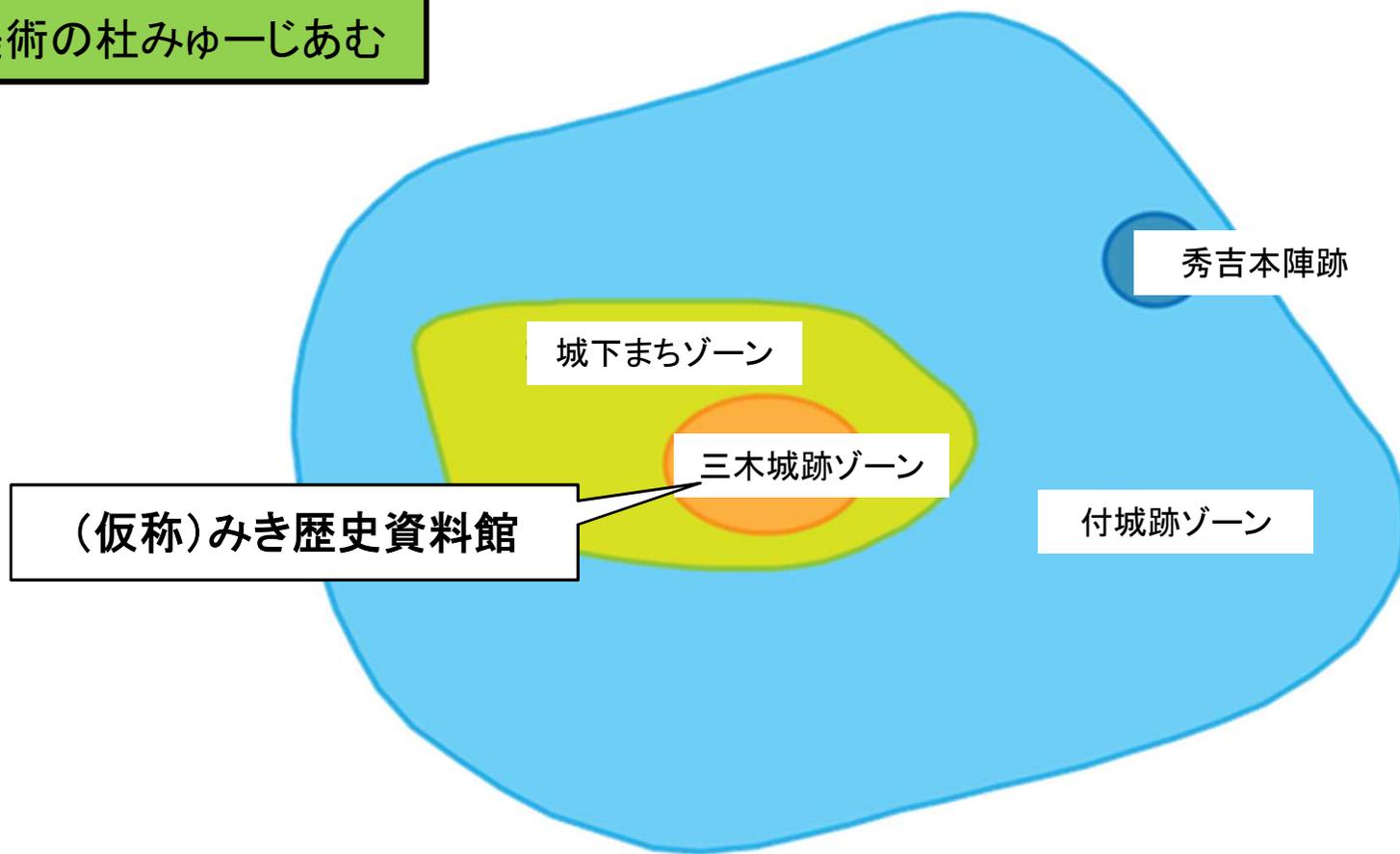
大宮八幡宮の秋祭り



② 「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」の整備

歴史の継承や市民の憩いの場の創出、まちの活性化を図るため、平成24年6月に「三木歴史・美術の杜構想」を策定し、平成25年3月に三木城跡及び付城跡群が国の史跡指定を受けた。これにより、城下町を含めたエリアをひとつの大きな博物館（フィールドミュージアム）に見立てる「みき歴史・美術の杜みゅーじあむ」を実現するため、その中核施設として「（仮称）みき歴史資料館」を整備する。

みき歴史・美術の杜みゅーじあむ



③ (仮称) みき歴史資料館のコンセプト

「(仮称) みき歴史資料館」のコンセプトは、「時空(とき)の拠点」「情報発信の拠点」「まちおこしの拠点」とする。

時空(とき)の拠点・情報発信の拠点

「時空の拠点」として、歴史資料の散逸を防ぎ、調査研究の成果を公開する。
「情報発信の拠点」として、三木の歴史や文化をアピールし、リピーターを拡大する。

まちおこしの拠点

「まちおこしの拠点」として、次の事業を行う。(案)

1 「まちの駅」の機能

1階入り口付近に、休憩所を配置して人々の交流を図るとともに、旧玉置邸、法界寺、秀吉本陣跡などへの誘導、まちおこし活動団体の交流の場を創設する。

2 イベントの開催

各種団体やボランティアの方々を活用し、土曜・日曜には、資料館前の広場を使ってお茶会(野点)やワークショップ、獅子舞などのイベントを開催する。

3 鍛冶道場の設置・金物鷲の部品展示

プレハブ倉庫(西側)を活用し、

① 伝統工芸士会の方に依頼して、小刀の鍛造の実演、マイ小刀の製造などを行う。

② 金物鷲の部品を常設展示する。

4 金物資料館・堀光美術館との連携

歴史資料館と近接している金物資料館、堀光美術館と企画展を連携して開催するなど、各施設が一体となって集客する。

④文化の振興に向けて

論点(資料P2～4)	市の考える改善の具体策	参 考 (具体策における課題・限界)
<p>① 三木市として、「(仮称)みき歴史資料館」をどのように位置付けて、活用していくのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史・美術の杜みゅーじあむ」のインフォメーション施設として、まちの賑わいづくりを担う。 ・高速道路周辺に建設される予定の「大型集客施設」やグリーンピア三木と連携し、人の流れを市内に引き込む役割を果たす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が参画して「まちおこし」をする仕組みづくりが必要である。
<p>② 点在する史跡や文化財、公共施設をどのようにつなぎ、それぞれの魅力をどう発揮するのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡や文化財、公共施設を結ぶ巡回バスの運行やレンタサイクルの活用など、点から面への展開を図る。 ・大宮八幡宮の秋祭りは市内最大規模であり、その名物になっている「屋台の階段のぼり」を広くPRし、これを起爆剤として三木市への流入人口の増加を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集客を支える駐車場が不足している。 ・三木市独自の伝統行事を支えていく人材が不足している。

2 スポーツの振興

①「いきいきと笑顔あふれる三木市民」を育む

スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものにするとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠なものであり、生涯にわたってスポーツに親しむことは、極めて大きな意義がある。

三木市におけるスポーツの振興は、次の3つの視点で進めていく。

①市民のスポーツライフに着目したスポーツ振興

スポーツは人格を形成し、人格を表現する場であることを踏まえ、「する・見る・支える」というスポーツの楽しさを広げ、人にとってかけがえのないスポーツ文化を定着していく。

②まちづくりに着目したスポーツ振興

青少年の健全育成や中高年の生きがいづくり、地域交流など、スポーツによる様々な効果や魅力を踏まえ、スポーツ振興によるまちづくり（地域の活性化）を図る。

③三木市らしさに着目したスポーツ振興

西日本一のゴルフ場数や世界レベルのテニス大会を開催できるビーンズドームなど、貴重なスポーツ資源を活用し、スポーツの振興を図る。

②地域のスポーツクラブの現状

兵庫県では、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも、多種目のスポーツを楽しもう」という趣旨で、平成12年度から小学校単位でのスポーツクラブ21の立ち上げを推進した。これを受け、三木市では平成12年度から平成15年度までに、14のスポーツクラブが結成され、各種スポーツの定例活動のほか、スポーツや健康に関する教室の開催などに取り組んでいる。

過去5年間の会員の合計数は、徐々に減少している。

ク ラ ブ 名	校 区	設立年月日	会員数（人）				
			H22	H23	H24	H25	H26
三 木 東	三木小・広野小	H14. 9. 26	355	276	414	468	456
三 木 西	三樹小・平田小	H14. 9. 24	750	711	664	560	558
別 所（M O E）	別 所 小	H12. 10. 24	6,800	6,739	6,739	6,739	6,781
志 染（夢スポ）	志 染 小	H16. 3. 26	3,400	2,992	2,987	2,902	2,901
細 川	豊 地 小	H15. 5. 11	2,248	2,239	2,218	2,218	2,198
口吉川（TRY!）	口吉川小	H15. 7. 19	780	807	785	655	561
緑が丘（With）	緑が丘小	H13. 9. 8	535	519	499	501	469
自由が丘西（スマイル）	自由が丘小	H15. 7. 12	572	490	490	463	413
自由が丘東（コスモス）	自由が丘東小	H15. 7. 6	311	279	243	194	170
三 木 青 山	緑が丘東小	H15. 1. 26	792	715	715	655	470
東吉川（ひがし）	東吉川小	H15. 3. 26	35	48	52	47	39
中 吉 川	中吉川小	H14. 2. 1	32	64	73	73	45
上 吉 川	上吉川小	H15. 3. 8	65	62	47	63	59
み な ぎ 台	みなぎ台小	H14. 4. 1	170	154	147	136	136
合 計			16,845	16,095	16,073	15,674	15,256

③スポーツ資源を活用したゴルフとテニスの振興

市内の貴重なスポーツ資源を活用し、「ゴルフのまち三木」「テニスのまち三木」をPRしていく。

○ゴルフの振興

1 三木市PR事業

- (1) 「(仮称)三木市レディーストーナメント」の開催し、「女子プロを育てるまち三木」をPRする。
- (2) プロアマ大会の開催(レディーストーナメント開催中)
- (3) ジュニア教室の開催(レディーストーナメント開催中)

2 ゴルフ場の利用による地域活性化事業

- (1) 市内ゴルフ場でスタンプラリーを実施し、市内での消費喚起につながる商品等を進呈し、地域産業の活性化を図る。
- (2) スタンプラリーの開始に合わせ、市内25のゴルフ場で一斉に1,000人コンペを開催する。

3 ジュニア育成事業

- (1) 小学生ゴルフ場体験 ゴルフ場を肌で感じる機会の提供(パター体験、コースを歩くなど)
- (2) 小学生練習場無料開放 市内の小学生にゴルフ場の練習場を無料開放
- (3) 中・高校生無料ラウンド 市内在住・在学中、高校生に無料でラウンドできる機会の提供
- (4) スナッグゴルフ等の用具を購入
 - ・ スナッグゴルフの用具を購入して小学校に配布し、小学生からゴルフに親しむ機会を提供する。
 - ・ ゴルフクラブを購入し、練習場解放事業、無料ラウンド事業に使用する。

○テニスの振興

1 ジュニア育成事業

- (1) 緑が丘スポーツ公園や三木山総合公園、吉川総合公園を利用し、ジュニアテニス塾を開講する。
 - ・ 定期講習会 レベルに合わせた塾を各会場で(週1回)全10回コースを2回開催
- (2) ジュニアテニス大会の開催
- (3) トッププレイヤーの試合観戦の機会を作る。

④スポーツの振興に向けて

論点(資料P6～8)	市の考える改善の具体策	参 考 (具体策における課題・限界)
① スポーツ人口の裾野をどう広げていくか。	<ul style="list-style-type: none"> パンフレットの配布や総合体育館の建設など、意識啓発やスポーツ環境の整備をするほか、各スポーツクラブ間の交流事業や指導者研修会、情報交換会の開催などにより、スポーツクラブの会員数の増加やスポーツの指導者、ボランティアを育成し、スポーツ人口の裾野を広げる 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツクラブの活性化を図るため、会員募集やイベントの情報発信が必要である。 スポーツの指導者やボランティアの育成が必要である。 ニュースポーツの普及を図る必要がある。
② スポーツ資源を活用しスポーツの振興に加え、いかに地域の活性化を図るか。	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフの振興を推進するため、三木市PR事業、ゴルフ場の利用による地域活性化事業、ジュニア育成事業を実施する。 緑が丘スポーツ公園や三木山総合公園、吉川総合公園などの施設を活用し、テニスのジュニア育成事業を実施する。 市内の貴重な資源を活用し、「ゴルフのまち三木」「テニスのまち三木」をPRしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ゴルフの振興による地域の活性化は、産業や観光との連携が必要である。 テニスの振興により、転入者や交流人口をいかに増加させるか。